トマト・なす・メロンの着果促進に！

トマトトーン®

®は登録商標

農林水産省登録：第6072号　有効成分：4-CPA・・・0.15%　人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

適用作物と使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	4-CPAを含む農薬の総使用回数
トマト	着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	低温時（20℃以下）50倍	開花前3日～開花後3日位（1花房で3～5花位開花した時期）	1花房につき1回	散布	1花房につき1回
		高温時（20℃以上）100倍				
ミニトマト		低温時（20℃以下）50倍	開花前3日～開花後3日位	1花につき1回		1花につき1回
		高温時（20℃以上）100倍				
なす		50倍	開花当日	1花房につき1回		1花房につき1回
メロン	着果促進	3～5倍	開花前日～翌日	花こう部に1回	塗布	1花につき1回
		25～100倍		花に1回	散布	
しろうり ズッキーニ		50倍	開花当日			

散布液の作り方（目安）

希釈倍数	製品1本(20cc)をうすめる水の量
3倍	４０ミリリットル
5倍	８０ミリリットル
25倍	５００ミリリットル
50倍	１リットル
100倍	２リットル

効果の発現

トマトトーンの効果は、噴霧処理後２～３日たつと、果梗が太くなり、幼果のつやが増します。非常に発育が早くなりますので、すぐにわかります。

トマトの使用例

⚠使用上の注意事項

- 使用にあたっては、必ず所定の希釈倍数に従って、水に溶かしてから使用してください。
  同じ花房(花)に重複散布したり、所定濃度以上の濃すぎる液の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 頂芽や幼葉にかかると、その部分が萎縮したようになるので、なるべく花房(花)にのみかかるように噴霧してください。
- メロンの花に噴霧を行う場合、子房だけに噴霧する時は、使用時期にかかわらず人工授粉を併用してください。
  また、低温時（20℃以下）には希釈倍数を低くし、高濃度で使用してください。
- ズッキーニに使用する場合、生育初期の雄花が少ない時期は結実が不安定であり、十分な効果が期待できないので使用しないでください。
- 使い残りの希釈液は４週間程度までの保存はできますが、なるべく早く使用してください。
- 適用以外の作物に薬液がかからないように注意してください。また、他の農薬との混用は行わないでください。
- 本剤は植物ホルモン剤ですので、使用時期、使用量、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 本剤散布に使用する容器、噴霧器などの用具は使用の前後によく水洗してください。
- アンプルの首部分を割るときは薬剤が眼に入らないよう、眼や体から離して取り扱ってください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋などをして散布液を吸い込んだり、多量に浴びたりしないように注意し、作業後は顔・手足など皮ふの露出部を石けんでよく洗い、うがいをしてください。

本印刷物は2018年4月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071　東京都千代田区富士見2丁目10番2号